

令和 6 年度 人権教育研究推進事業 <人権教育総合推進地域事業>

都道府県・
指定都市名

鹿児島県

地域名

南種子町

人権課題

アイヌの人々、子供、女性、高齢者、障害者、インターネットによる人権侵害 等

目標・人権教育
のねらい

学校・家庭・地域が連携して、様々な違いを認め、自他を大切にできる子供を育成する。

各組織の動き・役割等

南種子町人権教育総合推進会議 → 家庭・地域への啓発の在り方について協議

南種子町人権教育推進委員会 → 児童生徒の学習、家庭・地域への啓発の在り方についての研究

南種子町教育委員会

推進協力校 → 児童生徒・教職員・保護者・地域住民の理解促進

小・中学校長

南種子町立長谷小学校

人権課題【アイヌの人々】等について、教職員が合同研修会や講演会で学んだことを共有し、児童の学習の充実を図るとともに、保護者や地域住民への情報発信を行った。

小・中学校人権教育担当者等

小・中学校 P T A

南種子町立花峰小学校・南種子町立南種子中学校

人権課題【子供の人権・インターネットによる人権侵害】について学び、児童生徒の視点に立った授業づくりをテーマに校内研修を行い、「分かる授業づくり」に努めた。

人権擁護委員

民生委員 等

校種間連携の
概要

- ・ 南種子町人権同和教育研修会では、5・6年複式学級の社会科の研究授業や授業研究を通して、人権教育の在り方について学びを深めることができた。
- ・ 県教育庁人権同和教育課指導主事を講師とした校内研修を複数校で実施し、人権教育の在り方を平準化した。

地域・関係機関
との連携の概要

- ・ 南種子町人権同和教育研修会で北海道平取町立二風谷小学校長からオンラインによる講演をいただき、地域文化の継承への思いを踏まえた教育活動について考える契機となった。
- ・ 県教育庁人権同和教育課から主事を講師とした、南種子町の教職員、保護者、地域住民を対象とした研修会を実施し、「アイヌの人々の生き方と長谷小校区の先達の生き方」というテーマで講話を聞き、理解を深めた。

事業成果

- ・ 知識的側面：アイヌの人々の生き方と自分たちの地域の先達の生き方を重ねて考える学習を通して、歴史は人々が生きてきた証であると学びを深めることができた。
- ・ 価値的・態度的側面：校区の文化を築いてきた高齢者との交流を通して、大切にしてきた思いや願いを知ることで、ふるさとに誇りをもつとともに、自分たちが地域のよさや文化を引き継ぎ、伝えていこうとする意欲が高まってきた。
- ・ 技能的側面：地域行事に対して、社会貢献への意識をもって参加する児童生徒の姿が見られるようになった。